


社会福祉法人徳島県社会福祉事業団広報紙

発行


 利用者支援を通じて笑顔あふれる施設づくりを推進します
 社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団

TEL 088-663-5550

FAX 088-663-5553

HP: <http://fukushi-center.jp/honbu/>E-MAIL: honbu@fukushi-center.jp

第43号

令和3年1月25日

かけはし



「プラザギャラリー」オープン時の様子

「プラザギャラリー」を開設しました

令和3年1月24日、徳島県立障がい者交流プラザ内に障がい者の芸術作品の展示スペース「プラザギャラリー」を開設いたしました。多くの方に作品を見ていただく機会をつくり、障がい者の芸術文化の発展及び共生社会の実現につなげることを目的としています。

今後、企画展等も開催する予定ですので、ぜひプラザギャラリーに足をお運びください。また、作品の展示をご希望の方は、障がい者芸術・文化活動支援センターのホームページ等でご確認ください。

【プラザギャラリー場所】

徳島市南矢三町2丁目1-59 徳島県立障がい者交流プラザ1階・2階

【プラザギャラリー開館時間】 展示替えなどで臨時休館する場合があります

- ・1階：10時～16時 ※木曜日定休日、プラザショップ営業日に準ずる
- ・2階：10時～20時30分（土日祝は16時30分まで） ※障がい者交流プラザ開館日に準ずる

【お問合せ先】

徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター

Tel：088-631-1200 Fax：088-631-1300 E-mail：t-geibun@kouryu-plaza.jp

HP：<http://kouryu-plaza.jp/gb-center/>

理事長挨拶

社会福祉法人

徳島県社会福祉事業団

理事長 小谷敏弘

新年あけましておめでとございます。

昨年は新型コロナウイルスの対応に明け暮れた1年となりました。いかなる状況においても福祉サービスが必要不可欠であることを改めて強く認識しております。利用者・保護者・関係者のみなさまには、感染予防に必要な制限やお願いにご協力いただき、厚く御礼申し上げます。また、常に緊張感を持ち続け、利用者のため懸命に頑張ってくれている職員に心から感謝しております。

当法人におきましては、入所施設では特に「ウイルスを持ち込ませない」ことを基本とし、あらゆる事態に備え、施設内療養のための「多機能型簡易居室」を設置いたしました。また、視聴覚障がい者支援センターでは、聴覚障がい者の方の情報保障を行うため、病院と手話通訳者をつなぐ「遠隔通訳サービス」を開始し、併せて手話通訳者の感染リスク低減を図っているところです。

さらに、新たにオンラインを活用した取組みも開始いたしました。当法人が運営する障がい者スポーツ協会では、YouTubeでストレッチ動画を配信するほか、県内の障がい者施設等を対象に「オンラインスポーツ教室」を実施しています。また、障がい者芸術・文化活動支援センターにおいても「オンライン陶芸講座」を実施するなど、安心して体も心も動かすことができるよう支援を行っております。

本年（令和3年）秋には、昨年建設に着手した地域生活支援拠点（「仮称」ふらっとKOKUFU）がいよいよ完成いたします。障がい者の様々なライフステージに応じた総合的な支援を実施するとともに、地域の交流拠点を目指し整備するものです。障がいのある方もない方も共に暮らす地域共生社会の実現に向けて、職員一同で取り組んでまいります。本年も引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（仮称）ふらっとKOKUFU新築工事起工式を行いました

令和2年9月11日に、地域生活支援拠点「（仮称）ふらっとKOKUFU」（徳島市国府町）の新築工事起工式を行いました。新たな施設では、障がい者児のライフステージに寄り添い、グループホーム・就労継続支援・児童発達支援・相談支援・緊急時の受け入れや対応といった総合的な支援に取り組むとともに、地域交流の場を設けて地域共生社会の実現を目指しています。

「つながれば広がる ささえあえば安心 ふらっとKOKUFU」を理念とし、施設名称には「みんなが気軽にふらっと足を運び、だれもがフラットに交流できる地域の拠点にしたい」という思いを込めております。

ついに、この基本構想から2年かけて積み上げてきたものが、本年秋に形となります。事業開始に向けて、さらに職員一丸となって準備を進めてまいります。



起工式の様子

希望の郷

「多機能型簡易居室」を設置

希望の郷では、新型コロナウイルス感染症対策を進めております。「施設にウイルスを持ち込ませない」を基本に利用者・保護者・職員ともに新しい生活様式の導入を図りながら、消毒の徹底、健康管理、衛生用品の計画的備蓄を行っています。コロナ禍の中、衛生用品など入手困難な時期もありましたが、法人挙げてのバックアップもあり準備を整えることができました。

その中でも特に、施設内療養、衛生用品の備蓄庫などを目的として「多機能型簡易居室」の設置を補助金を利用し行いました。衛生用品の備蓄とともに、現在はレクリエーションにも利用しています。「備えあれば患いなし」と信じて、施設利用者・職員一同、新しい生活様式の中で暮らしています。



多機能型簡易居室

希望ホーム

「障がい者の学びコース」に参加

グループホームに入居されている方は、地域の一般企業に勤めている方が多くいます。平日は仕事が終わればホームで生活することがほとんどなので、休みの日の過ごし方は人それぞれです。今年度はコロナ禍の中で、外出の自粛や地域のイベントが少なくなつてしまい、余暇の時間を持て余している人がたくさんいました。

そのような時に、障がい者交流プラザで開かれる「障がい者の学びコース」のことを知り、入居者の皆さんから参加してみたいと強い希望がありました。体を動かす機会が少なく運動不足気味であったため筋肉痛にもなりましたが、皆さん笑顔でゲームに取り組みストレスの発散や健康の維持に役立てています。「続けて参加していきたい」と地域での暮らしに新たな楽しみを見つけています。



「障がい者の学びコース」とは、県立総合大学校「まなびーあ徳島」の一環として県教育委員会と当法人で主催する、障がいのある方もない方も一緒にスポーツ・芸術文化を楽しむ講座のこと

ご寄附をいただきました

三和電業株式会社様、阿波総合開発株式会社様より、多額のご寄附を賜りました。阿部商事株式会社様より、足踏み式の消毒液スタンドをご寄附いただきました。厚く御礼申し上げます。

施設の保護者のみなさまからは手作りマスクをいただくなど、多くの方々のご厚意・ご支援に心より感謝申し上げます。



足踏み式の消毒液スタンド

相談支援事業所きぼう

ICTを利用したリモートワークを開始

相談支援事業所きぼうでは、新型コロナウイルス感染症予防策の一つとして在宅勤務（リモートワーク）を導入しました。事務所の三密を避けるとともに、対人援助を必要としない計画書等の作成作業に集中できる在宅勤務は、新しい働き方として業務の効率化・ワークライフバランスの実践に有効です。ZoomやLINE WORKS等のICTを活用すれば会議の参加や連絡等がスムーズに行われます。

また、在宅勤務ツールのモバイルパソコン・WiFiルーター・モバイルプリンターは少しのスペースがあればどこでも活用できるため、私たち相談支援専門員が法人内の他の事業所に立ち寄った際には、サテライトオフィスとして少しのスペースを貸して下さると嬉しいのです。今後も「どこでもWORK」を含めて働きやすい環境を整えたいと考えています。



未来

未来フェスティバルを開催

令和2年11月に未来フェスティバルを開催しました。例年は、保護者、地域の方など大勢の方々にご来園いただき、賑やかに行っておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今回は、児童と職員のみで各棟ごとに時間を区切って開催しました。

コロナ禍でも、子どもたちには楽しい思い出になるように、わたがしやボールすくい、くじ引き、射的、エコバッグ作り、ウォータービーズなど様々なブースを設けました。消毒などに気を付けながらのフェスティバルとなりましたが、子ども達は少人数で各ブースをめぐる射的やボールすくいなどで景品をゲットし、楽しい時間を過ごすことができました。



放課後等デイサービス事業所未来

芸術文化活動で「襖絵」を制作

放課後等デイサービス事業所未来の芸術文化活動として、神山町在住でアーティストのルーファス・ウォード先生、神山アーティスト・イン・レジデンス及び障がい者芸術・文化活動支援センターの御協力により、農村舞台上で上演される襖からくりの襖絵を制作しました。神山町には人形浄瑠璃の文化が残っており、古くからの襖絵も現存しているとのことです。

今回はこの襖絵を先生の指導により作ってみようという事で、子どもたちが絵筆を握りました。出来上がった作品は、横約3.6メートル、縦1メートルの大きなもので、日常風景の中に動物や食べ物などがカラフルに描かれております。この作品は本年9月に開設予定の（仮称）ふらっとKOKUFUのギャラリーに展示する予定となっております。



総合福祉センター

地域防災講座

「コロナ禍での避難所運営の実践」

令和2年11月28日、近隣50の自主防災会が参加のもと、「コロナ禍における避難所運営の実践」をテーマに地域防災講座を開催しました。

受付時には、避難者の受入訓練として、検温や健康状態の確認、密集回避の待機訓練のほか、簡易テントを活用した隔離方法、避難生活での車中泊演習が行われ、また、熊本県八代市で発生した豪雨被害の支援活動報告のほか、地元自主防災会からは、「災害時に自立するための装備品」が会場内に多数配置され、参加者からは、災害時での対応として参考になったとの感想をいただきました。

今回の防災講座を終えて、コロナ禍が長期化しつつある中で、いかに感染症拡大を防止するかが課題となりますが、これからも地域と一体となって繰り返しの訓練実施が重要であると感じました。



障がい者交流センター

「プラザショップ」リニューアルオープン!!

障がい者交流プラザに「プラザギャラリー」がオープンすることに伴い、隣接する「福祉の店」を「プラザショップ」として、令和3年1月24日(日)にリニューアルオープンしました。

「ぬくもりのある、障がい者・高齢者をはじめ、「だれもにやさしい空間」をコンセプトに、徳島ゆかりの藍と木目を基調に、ゆっくり商品をお選びいただけるスペースとなっております。

徳島県内の福祉事業所の商品を販売し、新設するフリースペースでは、マルシェやワークショップ等を定期的に開催しますので、ぜひ、お立ち寄りください。



視聴覚障がい者支援センター

「遠隔通訳サービス」を開始

当センターでは、徳島県から委託を受け、新型コロナウイルスに感染またはその疑いのある聴覚障がい者が病院への受診等に際し、通訳者が同行することなく、タブレット端末等を利用して、手話通訳や要約筆記を行う「遠隔通訳サービス」を開始しました。

タブレット端末を設置した県立3病院等5機関と視聴覚障がい者支援センターに待機する通訳者とを結び、医師等の説明を手話や要約筆記で通訳します。このコロナ禍において、聴覚障がい者への情報保障を確保し、聴覚障がい者が安心して生活できるよう円滑なサービス運営に努めたいと思います。



障がい者スポーツ協会

「とくしまパラスポーツ人材バンク」を設置

令和2年9月1日、パラアスリートの発掘や育成のための環境整備、パラスポーツを通じた県民相互の交流促進を図るため、県内に在住のパラスポーツ活動を支える指導者を登録し、イベントや各種大会への派遣、パラスポーツを始めようと思っっている方々等とのマッチングを行う「とくしまパラスポーツ人材バンク」を設置しました。

徳島県障がい者スポーツ協会が事務局となり、現在では29名のサポーターに登録いただいています。コロナ禍の中、サポーターによるオンラインパラスポーツ教室を開催するなど、工夫を凝らしながら取り組んでいます。今後は県民の方々に広く周知し大いに御活用いただくとともに、皆様方にも本バンクの活用を是非御検討いただければ幸いです。

写真は、令和2年9月5日に開催の「オンラインパラスポーツ教室」において、希望の郷とオンラインでつなぎ、サポーターよりポッチャの指導をいただいているところです。



障がい者芸術・文化活動支援センター

障がい者アート活動支援のためのワークショップを開催

「美術」「著作権」「音楽」についての講座を、「アート活動支援のためのワークショップ」として8月から11月にかけて開催しました。

「美術」講座では、徳島県立近代美術館の亀井幸子氏より身近な素材を使った版画制作の面白さを、安達一樹学芸員からは、展覧会での展示の考え方など基本的な展示の仕方について学びました。「著作権」講座では、森晋介弁護士を講師に招き、過去の判例から権利についての考え方や捉え方を学び、質疑応答では、支援中に感じている疑問について具体的なアドバイスを聞くことができました。「音楽」講座では、徳島文理大学の井村幸子先生・千葉さやか先生より療法的音楽活動としての音楽のプログラムを通して、音楽がもたらす様々な効果や楽しさを学ぶとともに、体験することもできました。

今回は新型コロナウイルスの感染防止対策をしながらの開催でしたが、多くの方に満足していただくことができました。これからもアート活動支援に役立つ様々な講座を企画し取り組んでいきたいと思っております。



美術講座



著作権講座



音楽講座

子育てサポート企業「くるみん」に認定されました

令和2年11月、当法人は次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」として「くるみん」認定を受けました。これは、一般事業主行動計画の目標を達成し一定の要件を満たすなど、仕事と子育ての両立支援に取り組む企業を厚生労働大臣が認定するものです。

今年度からは新たな計画を立て、感染症対策を含めた職場環境の改善に取り組んでいます。8月には、「感染症対策勤務手当」、「待機手当」を創設するほか、子の看護休暇・介護休暇の時間単位での取得を全職員可能としました。12月には、「ドナー休暇」、「ボランティア休暇」の創設、「感染予防休暇」の拡充等を行っております。

今後とも、すべての職員が働きやすい職場環境づくりを目指して取り組んでまいります。

